

第4回噴煙火山ガス研究会の開催について（お知らせ）

鹿児島大学地域防災教育研究センターでは下記の要領で噴煙火山ガス研究会を開催いたします。研究会への参加は学内外のどなたでも可能です。興味のある方はご参加ください。

1. 講演題目1：火山灰雲のレーダデータ3次元解析

講演者：高橋忍（京都大学防災研究所火山活動研究センター技術補佐員）

2. 講演内容

近年の研究や現業観測から、気象レーダは火山噴煙をとらえることがわかり、降灰予測に気象レーダ情報を利用することが求められている。本研究では、レーダ反射強度 Z と降灰強度 RA の関係式を工学的な手法から導出し、2013年8月18日の桜島噴火事例に適用して、噴煙柱や火山灰雲の定量的な解析を試みた。その結果、噴煙の実態解明や定量的な噴煙量推定に有効であることが確かめられた。

1. 講演題目2：レーダデータの三次元可視化

講演者：鈴木郁子（京都大学防災研究所火山活動研究センター技術補佐員）

2. 講演内容

火山噴火に伴う噴煙柱や火山灰雲を観測する手段として、気象レーダが有効であることがわかってきた。最近ではマルチパラメータレーダが実用化され、噴煙に関する様々なレーダパラメータが観測されている。これらのレーダデータを元に、噴煙柱や火山灰雲を定量的に評価するためのレーダデータ三次元解析ツールを開発してきた。三次元空間での定量的評価は、直感的な理解に非常に有効である。今回のセミナーでは、ツールの一部である三次元可視化に焦点を当て、事例解析の結果について紹介する。

3. 場所：鹿児島大学 産学官連携推進センター1階 ディスカッションルーム

※前回と場所が異なります。

4. 日時：11月27日(金) 16:30~17:30

5. 今後の開催予定

12月11日 12月25日 1月15日 1月29日

